

ハイスタッフホール(観音寺市民会館)開館記念事業のご案内

公演スケジュール

公演日	タイトル
1月21日(日)	NHK交響楽団 観音寺特別公演
28日(日)	第4回観音寺映画鑑賞会「あん」
2月7日(水)	中村美律子コンサート
11日(祝・日)	第5回観音寺映画鑑賞会「団地」
24日(土)	和楽器演奏集団 独楽 「命あるかぎり」

好評発売中! 第4回観音寺映画鑑賞会「あん」

たくさんの涙を越えて、
生きていく意味を問いかける

日時 1月28日(日)
①午前10時30分～
②午後2時～

場所 小ホール

開館記念特別料金
500円(全席自由)

出演 樹木希林、永瀬正敏
市原悦子 ほか



好評発売中! 中村美律子コンサート

大阪を中心に絶大な人気を誇る中村美律子。軽快なトークと親しみやすいキャラクターでお茶の間の人気者となりました。ヒット曲は「河内おとこ節」「島田のブンブン」「臉の母」「人生桜」「だんじり」など。

日時 2月7日(水)
昼の部 午後2時開演 夜の部 午後6時開演

場所 大ホール

料金 5,500円(全席指定、未就学児入場不可、1人につき6枚まで)



好評発売中! 第5回観音寺映画鑑賞会「団地」

日時 2月11日(祝・日)
①午前10時30分～
②午後2時～

場所 小ホール

開館記念特別料金
500円(全席自由)

監督:阪本順治(代表作:『顔』『亡国のイージス』『闇の子供たち』等)
出演:藤山直美、岸辺一徳、石橋蓮司、大楠道代、斎藤工 ほか



好評発売中! 和楽器演奏集団 独楽「命あるかぎり」

独楽の主宰は観音寺市出身。和太鼓や琴、三味線、篠笛などが登場し、和楽器の魅力あふれるステージです。

日時 2月24日(土) 午後6時開演

場所 大ホール

料金 【指定席】前売り 2,500円 当日 3,000円
【自由席】前売り 2,000円 当日 2,500円
(未就学児入場不可、1人につき6枚まで)



好評発売中! NHK交響楽団 観音寺特別公演

ソリストの小山実稚恵は、人気、実力ともに日本を代表するピアニストです。チャイコフスキー国際コンクール、ショパン国際ピアノコンクールの二大コンクールに入賞以来、今日に至るまで常に第一線で活躍し続けています。

スペイン国立管弦楽団の首席指揮者であるダーヴィット・アフカムは、世界最高峰のオーケストラとオペラハウスからの客演依頼が引きも切りません。NHK交響楽団でのデビューは、客演指揮者としての見せどころの一つです。カラヤン、アンセルメなど世界一流の指揮者を次々と招聘し、歴史的な名演を残しているNHK交響楽団との共演は必聴です。



日時 1月21日(日) 午後3時30分開演

場所 大ホール

料金 S席 6,000円 A席 5,000円
B席 完売 学生席 完売
(全席指定、未就学児入場不可)

- 演奏予定曲目**
- ♪交響詩「ドン・ファン」作品20 (リヒャルト・シュトラウス作曲)
 - ♪ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K.466 (モーツァルト作曲)
 - ♪歌劇「ばらの騎士」組曲 作品59 (リヒャルト・シュトラウス作曲)
 - ♪バレエ音楽「ラ・ヴァルス」(ラヴェル作曲)



問い合わせ先
ハイスタッフホール ☎23-3939

子ども・若者の自立支援

子どもたちの安全・安心と、成長過程においてさまざまな問題を抱える子どもや若者の自立を願って、少年育成センターでは地域や関係機関と連携しながら健やかな成長を支援しています。

安全・安心パトロール
伊吹地区を除く市内の各小学校区に、青色防犯パトロール車を配備し、地域のパトロール員や少年育成センターの職員が巡回しています。

また、安全・安心の帽子や腕章を着けた人が通学路周辺を見回っています。
登下校の子どもたちとあいさつを交わし顔見知りになることで、不審者対応につながっています。

補導
各地区では地区の補導員が巡回しています。また、学校の先生と少年育成センターの職員は市内全域の巡回をしています。気がかりな子どもたちには声をかけ、非行や事故の未然防止に努めています。



人は人に傷つき悩みますが、その解決には人からもらう元気と勇気が必要です。日常のあいさつや声かけを通して、困った時に支え合える、顔が見える人とのつながりを築きましょう。
冬休みや年末・年始には家族そろって地域の行事に参加しましょう。

問い合わせ先
少年育成センター ☎25-4251

はじめまして ふるさと学芸館です

むかーしむかし、あるところに・・・

幼いころ、寝る前に聞いた話や読み聞かせてもらった絵本で知った話など、子どものころの心の中にはたくさんの「むかーしむかし、あるところに…」が詰まっていたことでしょうか。さて、ここで問題です。下の話とゆかりがある民具はどれでしょう？

- ①ある月のきれいな晩のこと、おかみさんが、糸車を回して、糸を紡いでいました。キーカラカラ キーカラカラ キークルクル キークルクル。ふと気が付くと、破れ障子の穴から、二つのくりくりした目玉がこちらをのぞいていました。糸車がキークルクルと回るにつれて、二つの目玉もくるりくるりと回りました。そして、月明かりに照らされた障子に、糸車を回すまねをするタヌキの影が映りました。(たぬきの糸車)
- ②「お地藏様、雪が降って寒かろうな。せめて、このかさをかぶってください」おじいさんはお地藏様に、売るつもりのかさをかぶせてやりました。(かさこ地藏)
- ③さっそく古道具屋が、茶釜を持って行くと「うーん、これは見事!」と、和尚さんはタヌキの化けた茶釜を大変気に入った様子で、とても高い値で買い取ってくれました。(ぶんぶく茶がま)
- ④キツネのちょうちんは不思議なもので、一振りするとぼちちりと赤い光がともらいます。ひよいひよいと2回振ると、底が開いて小判があふれ出てくるのです。(キツネのちょうちん)
- ⑤芝刈りの帰り道、ウサギは火打ち石でカチカチと、タヌキの背負っている芝に火を付けました。「おや? ウサギさん、今のカチカチという音はなんだい?」「ああ、この山はカチカチ山さ。だからカチカチというのさ」(カチカチ山)
- ⑥「ここを出て、初めてつかんだ物が、お前を金持ちにしてくれる」喜んだ若者は、お寺を出た途端、石につまずいてスッテンと転びました。その拍子に、一本のわらしべ(イネの穂の芯)をつかみました。「観音様がおっしゃった、初めてつかんだ物って、これの事? これで金持ちになるとは、とても思えないが」(わらしべ長者)



たくさんある民話と民具の関係を探っていくのも楽しいです。学芸館の取り組みの一つとして、観音寺市に伝わる「むかしむかしの話」を子どもたちに残し、いつまでも大切に語りつないで欲しいと願いを込め、本にまとめています。出来上がりをお楽しみに...

- 回答 ①-②糸車 ③-④茶釜
④-⑤ちょうちん ⑥-⑥わらしべ

問い合わせ先 ふるさと学芸館 ☎080-2974-4531

12/1 **ご長寿おめでとございます**

100歳を迎えた石川ヒサさん(大野原町)を白川市長が訪問し長寿を祝いました。多くの親族に見守られ、市長から顕彰状が送られると「ありがとうございます」と笑顔を見せてくれた石川さん。普段は得意の編み物をしたり、家族でゆったりと過ごしたりしているそうですが、5人の子どもや9人の孫が訪ねて来てくれ、にぎやかに過ごすことも楽しみにしているそうです。



12/3 **季節の地元野菜や果物、花等がずらり**

観音寺まちなか交流駐車場(ハイスタッフホール前)で第4回銭形いろどり市が開かれ、新鮮な農産物や海産物、加工品等を求めて、多くの人でにぎわいました。これは、地域の活性化や地産地消の推進を目的に始まったもので、生産者が対面販売することが魅力の一つ。口メインレタスやコールラビ等、なじみのない野菜の名前や調理法を聞きながら買い物を楽しんでいました。



12/8 **練習の成果を発揮できるよう頑張ります!**

第26回全国小学生バドミントン選手権大会に出場する清水花梨さんと清水彩世さん(ともに常磐小学校5年)の激励会がありました。いとこ同士の2人は息の合ったプレーで昨年に続き、2度目の全国大会出場。「しっかり声を出し合い、ベスト8を目指したい」と決意を述べ、白川市長は「体調に気を付け、良い成績が残せるよう頑張ってください」と激励しました。



11/30 **毎月楽しみ! 保育所での遊びを家庭でも**

粟井保育所で、毎月1回降所時に行われる親子ふれあい遊びがありました。2歳児から5歳児の子どもたちと保護者が一緒に大型絵本の読み聞かせを楽しんだり、練習を重ね粟井地区文化祭で披露した「アキレスケンタウルス」体操をしたりして、ふれあいました。子どもたちから「楽しい体操、気に入った」の声が上がり、元気いっぱい遊びの時間を楽しんでいました。



12/5 **知事意見交換会の開催**

知事が先進団体等を訪問し、県民からの意見や要望を県政に反映させることを目的とした「県政について話そう 知事意見交換会」が開かれました。最初に野々池(豊浜町)ため池耐震化整備事業の現場を視察。次に旧紀伊小学校でドローンの模擬飛行を視察し、その後(株)空撮技研代表者や関係者とそれぞれの取り組みや課題などについて意見交換を行いました。



12/10 **毎年恒例のもちつきで地域の人と楽しく交流**

地元の有志約20人で結成し子どもや地域のためにボランティア活動をしている、おやじの会主催のもちつき体験が大野原小学校であり、児童と保護者約120人が参加しました。「きねが重たかったけれど友達と協力しながら楽しくできた」と、児童たちは掛け声とともに力いっぱいきねを振り上げもちをついたり、優しく丸めたり、一足早い正月の気分を味わいました。



がんおんじタウン情報

11/19 **観音寺自慢の食を市内外に発信**

海や山、里と自然豊かな観音寺の特産品の魅力をPRしようと「食の博覧会」が道の駅とよはまでありました。五郷里づくりの会はこもけ(米粉)団子汁、豊浜町梨加工研究会は梨を使ったジャムや焼き肉のタレなど、郷土料理や加工品を販売。また、観音寺の食材を生かしたこの日限定のスペシャルメニューも販売し、訪れた人は観音寺ならではの食を堪能していました。



11/21 **保育士の誘導で静かに素早く避難!**

大野原保育所の0歳児から3歳児までの幼児129人が、南消防署第一分署の協力で総合避難訓練を実施しました。火災発生の場合と想定し、口を手で押さえ静かに素早く運動場へ避難しました。その後、消防車と救急車の見学や、防火服を触ったりヘルメットをかぶらせてもらったり、普段はできない貴重な体験に、子どもたちの目はきらきら輝いていました。



11/23 **図書館で健康体操とお宝本見学**

秋の読書週間行事「大人の図書館ツアー」が中央図書館でありました。20人の参加者は、普段入ることができない閑読書庫の見学や地元出身の版画家の作品や昔のレコードなど図書館所蔵のお宝を鑑賞しました。その後、同ツアー初の試み「体幹を鍛える健康体操教室」で、イスに座ってできる簡単な体操や呼吸法などを講師から教えてもらい、さわやかな汗を流しました。



11/25 **毎日の食卓にみそ汁を**

「親子でみそ汁を作ろう」と題した教室が秋のふるさと会館でありました。66人の参加者は、イリコと昆布から取っただしや4種類のみそ(白、米、麦、豆)の香りや味の違いを比べ。実習では、下処理してあるカボチャやカリフラワー等の野菜やチーズ、豆腐等たくさんのお具材から好みに合わせてお椀に入れ、楽しみながら自分だけのみそ汁を味わっていました。



11/27 **力を合わせて最高のパフォーマンスを!**

第45回マーチングバンド全国大会に出場する大野原小学校マーチングバンド部の激励会がありました。63人の部員が力を合わせ、全国大会20年連続26回目の出場という快挙を成し遂げました。白川市長の激励に応え、6年生の眞田璃一さんが「自分を信じて悔いのないように大野原小学校らしい演技をし、力を出し切りたい」と力強く決意表明しました。

